

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人ぜんりょう学園 でんき幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・健康で素直な明るい子ども
- ・自主自律の精神を養う
- ・礼儀正しい態度を身に付ける

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

5月より新型コロナウイルス感染症が第5類に緩和されることにより、普段の幼稚園生活に戻していく1年となる。しかしながら、感染症の心配が完全になくなるわけでは無いため、基本的な予防対策は継続しながら、子ども達や教職員の健康維持に努めつつ、これまで制限してきた食育や水遊び、保育参観や運動会、お遊戯会など保護者が参加する行事も徐々に普段の形に戻していき、子ども達にとってかけがえのない幼稚園での時間を充実させ、健やかに育つことのできる環境作りに努める。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
保育や行事	A	新型コロナウイルス感染症による制限が解除されたことにより、運動会、お遊戯会を分散開催から今年度はいずれも通常通りの形式に戻すことができた。開催に向けては多くの保護者からも沢山の協力や後押しもいただき、子ども達と共に充実した時間を過ごせた。
研修	B	北九州市私立幼稚園連盟主催の教師研修大会、小倉南私立幼稚園協会主催の教師研修大会に全教員で参加。どちらの研修も数年ぶりに対面の形で開催され、北九私幼連の分科会では園長、主任、教諭が、各々別々の課題の研修を受け、学びを深めることができた。今後も様々な研修に積極的に参加していき、学びの機会をとっていきたい。
健康・安全面	C	新型コロナウイルスへの感染者数はやや落ち着いたものの、インフルエンザやアデノウイルスなど他の感染症が流行し、学級閉鎖することもあった。普段からの感染症対策や保護者への早期の注意喚起を徹底して感染拡大の抑制に努めていきたい。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	行事だけでなく、保育においても食育などにも安心して取り組むことができ、普段の幼稚園生活を随分取り戻すことができた。一方で、出生数の減少や通所の低年齢化などの影響もあり、園児募集や子育てサークルの参加数に陰りが目立つ一年となった。次年度は改善させるために園運営の見直しを要する。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保護者との関わり	出欠の確認や預かり保育の利用確認、保護者への緊急連絡などの利便性を向上させ、教職員、保護者ともに負担軽減につながるようICTシステムの導入に取り組むたい。
運営	未就園児を対象とした子育てサークルの参加者増加、そして入園児数の増加に向けて、運営体制や発信方法の見直しを図り、改善に努めたい。

## 6. 学校関係者の評価

2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症による制限で厳しい時期を乗り越え、幼稚園では感染症対策に努めながらも子供たちの充実した園生活を取り戻すための努力が続けられてきました。

2023年5月に制限が解除されたことで、様々な行事が再開されました。子供たちは再び友達とのふれあいを楽しみ、学びの場が広がることとなりました。園外活動や遠足、運動会、お遊戯会など、多様な活動を通じて、子供たちの社会性や協調性、創造性が育まれている。

子供たちは、日々の活動を通じて、自己表現の喜びや、新しいことへの好奇心を深めて、集団生活の中でのルールを学び、お互いを思いやる心を育てています。このような経験は、子供たちの健全な成長と発達に不可欠です。

今後の展望…子育てサークルは子供たち一人ひとりの安全と健康を最優先に考え、質の高い教育を提供することと魅力あふれるサークル内容を目指す。そして、子供たちが明るく、希望に満ちた未来を歩んでいけるよう、支援を続けていきます。

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

委員会実施日

令和6年3月27日